

令和4年度（令和3年度対象）

教育委員会の点検・評価

令和4年8月

洞爺湖町教育委員会

も く じ

I	はじめに	1～2
	1. 点検及び評価とは	
	2. 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価	
	(1) 評価の流れ	
	(2) 評価の対象	
	(3) 事務事業における評価者	
	(4) 評価シートの作成	
	(5) 達成度評価基準	
	(6) 行政評価委員による意見・提言	
	3. 教育行政評価の公表	
II	教育委員会の活動状況	3～6
	1. 教育委員会議の開催状況	
	2. 委員の活動状況	
III	事務事業評価及び評価委員の意見・提言	7～31
IV	資料 (別添)	
	1. 令和3年度教育行政執行方針	
	2. 令和3年度各種事務事業の実績等	

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）が、平成20年4月1日から施行されました。この改正法では、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」が教育委員会に義務付けられています。

1 点検及び評価とは

教育行政の点検及び評価とは、洞爺湖町教育委員会が行っている行政活動（施策・事業）をどのような成果を上げたのかという観点から点検・評価し、その結果を改革・見直しに結びつけ、行政運営の質の向上を図るものです。また、住民にわかりやすく説明することによって、行政活動の透明性を高めるための経営手法でもあります。

(1) 点検及び評価の目的

点検及び評価の目的は、

- ①政策や行政活動（施策・事業）の質を向上させること。
- ②行政の説明責任を果たすこと。
- ③教育行政に対する町民満足度を高めることです。

2 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価

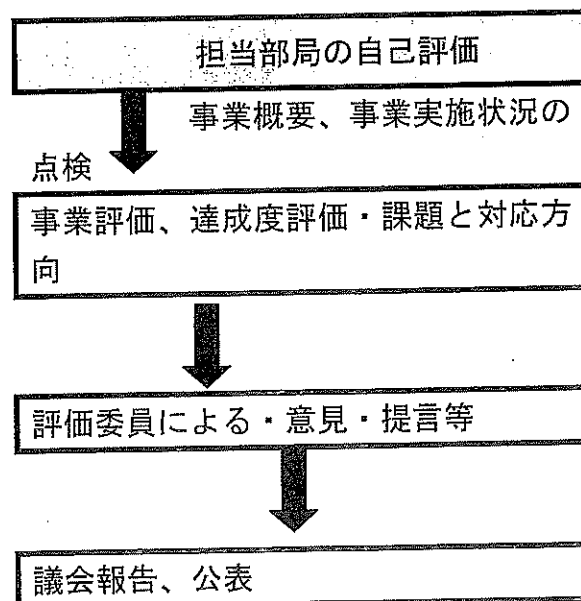
教育行政の点検及び評価をまとめて、「行政評価」とします。

(1) 評価の流れ

教育委員会による自己評価に外部の視点から評価委員の意見を組み込むことにより、行政評価の客観性や改革・見直しの実効性を高めていきます。

各担当部局では、全事務事業を対象に、所定の評価シートを用いて「自己評価」を行います。

その後、評価委員が各事務事業に対する意見・提言等を示します。



(2) 評価の対象とする事務事業

前年度の「教育行政執行方針」に明記された事務事業の主なものを評価対象とします。

なお、個々の事業をまとめた「主要施策」ごとに評価シートを作成し、評価事務の簡略化及び明確化を図ります。

※ 教育行政執行方針の括りを「推進項目」…大項目、「主要施策」…中項目、「事務事業」…小項目に分類します

(3) 事務事業における評価者

事務事業評価は、担当部局が評価者となり、評価シートは所管課が作成します。

(4) 評価シートの作成

- ①「主要施策」に括られた「事務事業」の概要を記載
- ②上記事務事業の実施状況を簡潔に記載
- ③事務事業ごとの決算額を記載（過去2カ年）
- ④担当部局の「評価」を事務事業ごとに簡潔に記載
- ⑤「達成度」について、下記の基準により評価し、簡潔な説明を記載
- ⑥「課題と対応方向」について、具体的に記載

(5) 達成度評価基準

評価対象事務事業について、事業の達成度についてA～Dの4段階で評価します。

評価	事業達成状況	
A	予定事業の実施状況について	概ね達成できた
B		一部に未実施があったが、達成度は比較的高い
C		未実施のものが多く、達成度が低い
D		ほとんど実施できなかった

(6) 行政評価委員による意見・提言

担当部局が作成した「主要施策」ごとの評価シートを行政評価委員に提示・説明し、施策・事業への意見・提言を求める。

3 教育行政評価の公表

行政評価委員の意見・提言等を記載した評価報告書を町議会に提出し、町ホームページ等で公表します。

<報告書内容>

- ①教育委員会活動報告
- ②事務事業評価シート
- ③教育行政執行方針（参考）

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会議開催状況

令和3年第2回臨時会 5月18日

番 号	案 件
報告第10号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第11号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第12号	臨時代理の報告について（洞爺湖町学校給食センターに係る検討委員会設置要綱の制定について）
報告第13号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和3年5月会議提出一般会計補正予算（第12号））
報告第14号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和3年5月会議提出一般会計補正予算（第1号））
指名第1号	洞爺湖町教育委員会教育長の職務代理者の指名について
議案第19号	洞爺湖町へき地保育所条例施行規則を廃止する規則について

令和3年第3回定例会 7月27日

番 号	案 件
報告第15号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和3年6月会議提出一般会計補正予算（第2号））
報告第16号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第17号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第18号	令和2年度洞爺湖町学校給食会計決算について
報告第19号	臨時代理の報告について（洞爺湖町男女共同参画計画策定委員会設置要綱の制定について）
議案第20号	洞爺湖町表彰条例に基づく被表彰候補者の内申について

令和3年第3回臨時会 8月26日

番 号	案 件
報告第20号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第21号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第21号	令和4年度から使用する中学校用教科用図書「社会（歴史的分野）」について
議案第22号	令和3年度（令和2年度対象）教育委員会の点検・評価について

令和3年第4回臨時会 9月29日

番 号	案 件
議案第23号	洞爺湖町教育委員会事務局職員の懲戒処分等について
議案第24号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について

令和3年第4回定例会 10月28日

番 号	案 件
報告第22号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和3年9月会議提出一般会計補正予算（第3号））
報告第23号	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果概要について
報告第24号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第25号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について

令和3年第5回臨時会 12月24日

番 号	案 件
報告第26号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和3年12月会議提出一般会計補正予算（第6号））
報告第27号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第28号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第25号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について
議案第26号	洞爺湖町立読書の家施行規則の一部改正について
報告第29号	洞爺湖町教育委員会事務局職員の懲戒処分等について

令和4年第1回定例会 1月27日

番 号	案 件
報告第1号	臨時代理の報告について（洞爺湖町教育委員会部局の人事異動）
報告第2号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第3号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第4号	令和4年度当初予算要望概要について
議案第1号	洞爺湖町文化財施設条例の一部改正について
議案第2号	洞爺湖町就学援助費の支給に関する要綱の一部改正について
協議第1号	学校訪問総括について
協議第2号	保育所訪問総括について

令和4年第1回臨時会 2月15日

番 号	案 件
報告第 5号	臨時代理の報告について(洞爺湖町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正)
報告第 6号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第 3号	令和4年度洞爺湖町一般会計予算(民生費・教育費関係)について
議案第 4号	令和4年度教育行政執行方針について
議案第 5号	洞爺湖町男女共同参画計画の策定について

令和4年第2回定例会 3月22日

番 号	案 件
報告第 7号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 8号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 9号	臨時代理の報告について(洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正)
報告第10号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和4年3月会議提出一般会計補正予算(第9号))
報告第11号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和4年3月会議提出一般会計補正予算(第10号))
報告第12号	令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要について
議案第 6号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について
議案第 7号	洞爺湖町立学校教職員の人事異動について
議案第 8号	洞爺湖町教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について
議案第 9号	洞爺湖町文化財施設条例施行規則の一部改正について
議案第10号	洞爺湖町文化財施設における体験学習等に関する要綱の制定について
議案第11号	修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について

2. 委員の活動について

- 4月 2日 町立学校職員着任式
- 11月29日 学校訪問（虻田小学校・とうや小学校・洞爺中学校）
- 11月30日 学校訪問（洞爺湖温泉小学校・虻田中学校・虻田高等学校）
- 12月 2日 保育所訪問（4保育所）

事務事業評価

及び評価委員の意見・提言

行政評価委員総括意見

令和3年度の教育行政執行方針に基づき、23区分の主要施策に分けた主な事務事業について、各担当課による点検、評価の内容をもとに、第三者の立場から、意見、助言を申し上げました。

評価対象の各種事務事業については、新型コロナウイルス感染症の感染が収まらず、一昨年度に引き続き中止を余儀なくされた事務事業があり、教育行政に大きな影を落としています。

そのような中であっても、実施した事業については達成度も高く、課題と対応方向も的確に捉えています。また、指摘された課題は翌年には改善されるなど、意欲的に業務に取り組まれていることを評価します。

このたびの評価を通して、特に次の点について申し上げます。

1点目は、本町の教育において、子育ては地域全体でという姿勢が進められており、このことは非常に重要であり、今後もこの姿勢で教育を進めていただきたいと思えます。

2点目は本町における教育行政の課題も山積しており、これらは長期的あるいは中期的なものとして整理し、段階的に取り組まれているものと理解しています。

しかしながら、例えば虻田中学校校舎の老朽化については、待ったなしの状況ということで、この評価委員会でも幾度となく課題として協議されてきており、教育委員会も対応をしてきているとは思いますが、もうそろそろ、課題に対する見通し（ビジョン）を早期に示していただく時期にきているのではないかと考えます。

以上、2点ほど申し上げましたが、更なる本町の教育行政発展のための取り組みを期待します。

●洞爺湖町教育委員会行政評価委員

区分	氏名	摘要
委員長	山本 隆	洞爺地区
委員	永井 信久	洞爺湖温泉地区
委員	大西 栄美	虻田地区

事務事業評価シート

		担当課	管理課			
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進					
主要施策	ア 子育て支援の充実					
取り組みの概要(事務事業)	①保育所及び私立幼稚園の利用者負担額の軽減対策の実施 ②一時預かり事業 ③町内私立幼稚園への制度に基づく支援 ④幼児教育・保育の無償化					
実施状況	①平成29年度より、洞爺湖町内に住所を有し就学前児童を扶養する保護者に対し、利用者負担額を2分の1助成することで経済的負担の軽減により子育ての支援を行った。 ②平成26年度に子育て支援センターで試行し、平成27年度から常設保育所で本格実施。虻田地区は本町保育所、洞爺湖温泉地区は桜ヶ丘保育所、洞爺地区は洞爺保育所で実施した。(各保育所定員1日2名) ※実績(延べ人数)本町保育所 96名、桜ヶ丘保育所 7名、洞爺保育所 157名 計 260名 ③町内私立幼稚園が、子ども・子育て支援法に基づく施設型給付施設へ移行したことにより、制度の趣旨を踏まえた給付費の支援を実施した。(3/1 洞爺湖町在住児童 45名) ④令和元年10月からは、幼児教育無償化がスタート。3歳以上については利用者負担金(保育料)は無償となっている。 また、副食費月額 4,500 円の負担額については、2分の1助成を実施した。なお、3歳未満児については、非課税世帯は無償としている。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(3年度)	
			2年度	3年度	国・道	その他
	①利用者負担金助成		6,290	5,062	0	5,062
	②常設保育所運營業(一時預かり事業)		7,908	8,452	6,112	388
	③私立幼稚園施設型給付費事業		37,482	37,961	25,556	0
④幼児教育・保育の無償化		0	0	0	0	
評価	①利用者負担額を2分の1助成することにより、保護者の働きやすい環境を整えることができた。 ②3地域でそれぞれ実施され、利用者も定着しており、地域の子育て支援のサポートができた。 ③町内私立幼稚園が、新制度による施設型給付施設へ移行したことに伴い、当該施設と連携を図り、適切に給付を実施することができた。 ④令和元年10月から幼児教育無償化により3歳以上児については、副食費のみの負担となったが、利用者の負担額を2分の1助成することにより、保護者の負担を軽減することができた。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	①②③④特になし		今後も継続して実施していく。			
評価委員の意見・提言	今後も保護者の働きやすい環境を整えるなど、子育て支援の充実に努め更なる事業の充実を進めて頂きたい。					

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	イ 保育所の運営充実				
取り組みの概要(事務事業)	①幼・保・小連携の充実の活動推進 ②新型コロナウイルス感染症対策(予防対策用品購入)				
実施状況	①・小学校参観日等に所長若しくは保育士の参加により、学校での就学した児童の様子の見学を実施するとともに、意見交換を行った。 ・3月には保育所児童要録(小学校就学児対象)を個別に作成し、持参による提出で各小学校へ引継ぎを行い連携を図った。 ②・新型コロナウイルス感染症対策の感染リスクの軽減のため、令和2年度に購入した町内保育所ウイルス除去対策に伴う備品(ソープディスペンサー、空気清浄機、加湿機)を使用し、予防対策について除菌用品の消耗品を引き続き購入して感染対策を行った				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①保育の質の向上のための研修事業	0	100	50	0
②新型コロナウイルス感染症対策	3,165	0	0	0	
評価	①児童要録は教育にかかわる視点で「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の項目で構成されており、具体目標に沿った児童の状況を記載している。小学校教員と直接引継ぎを行っているほか、学校側からの保育所への期待など確認し保育に取り入れている。 ②コロナ禍における保育所での感染拡大防止が図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①②特になし	・今後も学校・幼稚園・保育所、教員・幼稚園教諭・保育士相互の交流を通じ、就学に向けて必要な連携を図っていく。 ・平成30年度より適用された児童要録はより具体的に記載することにより、児童の状況をより具体的に引継ぎを行うことができる。記載の表現など研修を重ねていく。 ・保健師および小学校との連携により、支援を要する児童も含めたスムーズな就学に向けた取り組みを図る。 ・新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれないため、今後においても、引き続き適切な感染予防対策を講じる。			
評価委員の意見・提言	幼・保・小の連携を図り、就学に必要な研修や引継ぎなど関係機関との情報共有を図り、スムーズな就学に向けた取組みを継続して頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	ウ 子育て支援センター事業の推進				
取り組みの概要 (事務事業)	①子育て支援体制の連携				
実施状況	①・子育てセミナーについて、5回開催のうち新型コロナウイルス感染症対策のため、1回中止とし、4回は感染対策をとりながら実施した。他の事業については、状況を見ながら実施した。 ・社会教育事業のブックスタートに同行し、幼児期の読み聞かせの大切さなど周知した。 ・各保育所で月1回の保育所開放を実施し、保育所との連携を図っている。 ・広報誌「なかよしメール」を月1回発行(ホームページ掲載) ・健康福祉センターと連携をとりながら、出生した世帯に子育て支援センターの事業案内「あかちゃんハガキ」を定期的に発送し周知を図った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	子育て支援センター運営事業	2,836	3,095	2,062	0
評価	①・子育て支援センターでは、子育て支援に関するアンケートを実施しており、各種事業は概ね好評を得ている。 ・保育所開放は各保育所月1回実施し定着しているが、令和3年度については、昨年度に引続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止等で中止することがあり、予定していた回数より少ない実施となっている。 (利用延べ人数 保護者、乳幼児 47名)				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①特になし	・子育てセミナーは、毎年実施している子育て支援に関するアンケートを踏まえて、関係機関の協力を得ながら、より親しみのある事業内容の実施に努める。 ・保育所開放は定着しているので継続して行っていく。			
評価委員の意見・提言	子育て支援の相談や情報提供、親子の交流など地域で支える育児支援を目指し、利用者アンケートや周知を行い継続して取り組んで頂きたい。				

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	エ 保育施設の整備				
取り組みの概要(事務事業)	①本町保育所と入江保育所の統合移築の推進				
実施状況	①町有地である「みんなの森公園」付近を新たな候補地として選定した後、基本計画を実施した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①本町保育所と入江保育所の統合移築	0	6,105	0	0
評価	①統合移築先に選定した土地は、健康福祉センターとあぶた読書の家に囲まれた土地であり、みんなの森公園に隣接していることから緑も多く、子どもたちに良好な保育環境を提供することができる。				
達成度	A	説明	一部変更となったが予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①保育所の配置	今後、基本計画を策定し、3案程度の中から配置等を1案選定した。			
評価委員の意見・提言	策定した基本計画をもとに、より良い保育所となるよう関係部署と連携し、早期に実現して頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その1》				
取り組みの概要(事務事業)	①コミュニティ・スクールの実施 ②小中連携の実施 ③スタンダード5研修委員会による新たな学力向上指標(スタンダード5)の浸透 ④GIGAスクール構想の推進				
実施状況	①平成29年度より洞爺地区でコミュニティスクールを導入し、虻田地区においては平成30年度より導入しており、令和3年度においては、コロナ禍の影響もあり、運営協議会は、合同会議は実施せず、各校で書面会議、対面会議をそれぞれ実施した。 ②虻田中学校区と洞爺中学校区で小中の交流・連携を進めた。 ・両校区とも、コロナ禍の影響もあったが、洞爺地区では、中学校の授業を公開したり、小学校6年生の授業を中学校の教員が参観するなど、情報交流を行った。 虻田地区では中学校へ進学することもたちについてや宿題や家庭学習の小中連携について情報交流を行った。 ③スタンダード5研修委員会のもと、新学習指導要領に立脚した新たな学力向上指標づくりを行い、学校、子ども、保護者にその浸透を図るため指標による取組を親しみやすい図表にデザインし、各校に配布した。また、各校で交流し、今後の取組の課題を明らかにした。 ④令和2年度に1人1台端末の整備を実施していることから、令和3年度においては、文部科学省の補助事業を活用し、端末利用のルール・使用マニュアルの作成や授業のサポートなどを実施するGIGAスクールサポーター1名の配置を行った。また、モバイルWi-Fiルーターの無償貸出を開始し、端末の持ち帰り学習が可能となるよう整備を実施した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①コミュニティ・スクールの町内全校実施	14	80	0	0
	②小中連携の実施	0	0	0	0
	③スタンダード5研修委員会の開催	137	23	0	0
④GIGAスクール構想の推進	44,990	23,957	1,842	0	
評価	①町内各校に設置されているコミュニティ・スクール体制により、コロナ禍の中にあり合同会議は実施できなかったが、各校での書面会議、対面会議1~3回実施した。 ②小中連携においては、コロナ禍により、制限がある中、生徒指導の交流や小から中へと進む際に細やかな情報の引継など、日常的な交流・連携ができた。 ③スタンダード5が各校に浸透し、子ども達や保護者も指標を理解した上で町内小・中学校が共通の指標のもとで学力向上に取り組むことができ、学力向上の成果がみられた。 ④GIGAスクールサポーターを配置したことにより、端末利用時のルール作成や教職員における端末活用に関する技術向上が図られた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①通常会議の開催 ②③特になし ④ICT教育の促進		①通常会議を開催し、学校教育の推進を図る。 ②今後も積極的に取り組んでいく。 ③新たなスタンダード5により、今後も取り組んでいく。 ④今後も教員向けのICT支援に取り組み、より良い授業の実現を図る。		
評価委員の意見・提言	今後もコミュニティスクールと連携を図り、小中学校の交流や学力向上の取り組み、ICTを活用した授業など学校運営の充実に取り組んで頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その2》				
取り組みの概要(事務事業)	①教育指導専門員の配置 ②全国学力・学習状況調査 ③学習支援員の配置				
実施状況	①引き続き1名配置した。(平成27年度から配置) ②当初は中止としていた令和3年度全国学力・学習状況調査を、国からの依頼により、町内全小中学校を対象に実施し、町内の調査結果を分析した。 ③基礎学力向上を図るために、学習支援員3名を配置した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①教育指導専門員の配置	2,975	3,106	0	0
	②全国学力・学習状況調査	0	0	0	0
	③学習支援員の配置	7,412	7,849	0	0
評価	①教育指導専門員の配置により、教育委員会として各学校へ専門的な指導、アドバイスができた。 ②全国学力・学習状況調査の実施及び独自の学力調査の実施により、現状の傾向や課題を把握し・分析し、児童生徒個々の教科指導の充実が図られている。 ③町独自の学力向上対策のための支援員の配置により、授業の円滑化や学習姿勢、意欲の意識向上に努めた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①特になし ②全国学力・学習状況調査の結果活用 ③学力の向上		①引き続き配置を継続する。 ②学力向上に向けた取組として、全国学力・学習状況調査における現状の傾向や課題の把握、分析をはじめ各学校の取り組みの充実を図るため継続して実施する。 ③引き続き、学習支援員の配置を行っていく。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の学力向上に向けた専門員や支援員を配置し、引き続き取り組んで頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その3》				
取り組みの概要(事務事業)	①独自学力検査の実施 ②中学生実用英語検定・漢字検定料助成				
実施状況	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施した。 ②実用英語技能検定及び日本漢字能力検定料について当該年度の1回分を助成した。 * 受験者数 イ 実用英語技能検定 53名(受験率 32%) 前年度57名(受験率 34%) ロ 日本漢字能力検定 41名(受験率 25%) 前年度43名(受験率 25%)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①独自学力検査の実施	441	449	0	0
	②実用英語検定・漢字検定料の助成	256	279	0	0
評価	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施により、児童生徒個々の教科指導が図られている。 ②今年度は4年目の実施となり、昨年度とほぼ同様の受験率となったが、当初と比べ受験率が増加しており、学習意欲の向上が図られている。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①学力の向上 ②参加者の増及び学力の向上		①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」の実施など、引き続き支援していく。 ②開始当初に比べ、参加者が徐々に増加していることから、今後も参加者の増を図るとともに、学習意欲の向上を図り、学力の向上につなげる取り組みとしては有効と思われることから、引き続き実施していく。		
評価委員の意見・提言	各種検定については、学習意欲の向上に繋がる取組みであることから、学校と連携し受験率の向上を目指して頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その4》				
取り組みの概要(事務事業)	①働き方改革の推進				
実施状況	①令和3年度においては、令和元年度に設置した留守番電話にタイマーの設定、また、夏季や冬季の学校閉庁日の緊急連絡先の窓口を学校ではなく教育委員会とするよう保護者へ周知を行なった。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①働き方改革の推進	0	25	0	0
評価	①留守番電話にタイマーを設定することで、設定や解除のし忘れを防ぐことができた。また、夏季や冬季の学校閉庁日の連絡窓口を教育委員会とすることで、教職員の勤務負担の軽減が図られた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①教員の勤務時間の短縮		①働き方改革指針に基づき、児童生徒の多様な学びを止めることなく、教職員一人一人の意識改革とともに、勤務時間縮減の取り組みを進める。		
評価委員の意見・提言	学校閉庁日や留守番電話のタイマー設定など、教員の働き方改革は進められているが、今後は部活動の地域移行の体制整備など、さらなる時間外勤務時間の削減に向け取り組んで頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	イ 特別支援教育の充実				
取り組みの概要(事務事業)	①介護員・支援員の配置 ②指導計画・教育支援計画の充実				
実施状況	①特別支援教育支援員5名、特別支援学級介護員7名及び外国から転入した生徒対応学習支援員2名を配置した。 ②特別な支援を要する児童生徒への個別の教育指導計画や個別の教育支援計画の策定を進めている。また、子どもたちの育ちと学びを支えるため、個別の支援ファイルを配布し活用を図るようにした。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①介護員・支援員の配置	27,442	28,949	0	0
	②指導計画・教育支援計画の充実	45	40	0	0
	(支援ファイル「すくすく」作成費)				
評価	①支援員及び介護員の配置により、特別な支援を要する児童生徒への柔軟な対応や、授業自体の円滑化を図ることができた。なお、外国から転入した児童生徒対応の学習支援員の配置により、当該生徒は日本での学校生活に馴染み通学することができている。 ②個別の教育支援計画については、町内小中学校共通の様式を作成したことにより、町内で統一した発達や発育を総合的に捉えることができ、子どもの課題も整理された。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①介護員、支援員の確保 ②支援ファイルの活用促進		①授業を円滑に行うため、適正な配置を考慮しながら、継続して配置をする。 ②活用の充実を図るため、保護者・関係機関と連携・協議して進めていく。		
評価委員の意見・提言	特別な支援を要する児童生徒の学びの環境を確保するため、引き続き介護員や支援員を確保し、支援ファイルを活用した特別支援教育の充実に取り組んで頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ウ 特別教育等の充実				
取り組みの概要(事務事業)	①環境教育、防災教育の推進 ②ALTの活用				
実施状況	①コロナ禍においても、各学校とも自校の環境教育、防災教育の計画に基づき、校外での体験学習や火山マイスター等の講師を招いての防災学習を行った。特に1日防災学校は、毎年ローテーションに基づき実施している。成果は環境・防災教育実践集としてまとめられている。 避難所開設体験学習については、コロナ禍のために中止となった。 ②ALTを1名任用し、週1日ずつ各小中学校へ派遣している。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①環境教育、防災教育の推進(避難所開設体験学習会)	0	0	0	0
	②ALTの任用	4,484	3,979	0	0
評価	①各学校の実情にあわせた防災教育・環境教育が行われている。また、1日防災学校では防災学習を体験することで児童生徒の防災に対する意識付けが図られてきている。 ②コロナ禍で来日が3ヶ月ほど遅れて来日したが、概ね計画どおり派遣できた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①1日防災学校の実施内容等の検討 ②特に無し		①実施内容の更なる充実を図る。 ②特に無し		
評価委員の意見・提言	地域の特色ある環境やさまざまな災害に対応した防災教育の充実などに、引き続き取り組んで頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その1》				
取り組みの概要(事務事業)	①体力向上の推進 ②フッ化物洗口事業 ③いじめ、問題行動、不登校等への対応				
実施状況	①令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施した。 ②町内3小学校及び町内2中学校の全てでフッ化物洗口普及事業を実施した。③年2回の道教委のいじめに関するアンケート調査、学校独自のアンケート調査に加え、心理テスト(ハイパーQU)を実施した。また、必要に応じて、スクールカウンセラーの派遣を実施した。不登校児童生徒については、読書の家において、教育指導専門員が児童生徒の心のケアも含めて学習の支援を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①体力向上の推進	0	0	0	0
	②フッ化物洗口事業の実施	275	333	0	0
	③いじめ、問題行動、不登校等への対応	388	384	0	0
評価	①令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、本町の傾向と課題を把握することができた。 ②保護者の理解を深め、関係機関と連携を図り、フッ化物洗口事業を円滑に実施できた。 ③アンケート調査や心理テストの結果を検証し、いじめに関する早期発見及び所要の対応を的確に実施することができた。また、必要に応じたスクールカウンセラーの派遣により、円滑な学校運営を図ることができた。不登校児童生徒については、教育指導専門員を配置し児童生徒の心のケアを含め学習の支援を行い、昨年度よりは減少している。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①体力の向上 ②特になし ③心理テストの有効活用		①男女ともに全国平均を下回る種目が多いため、今後も体力向上のため、各学校の取組充実と併せ現状の取組を推進していく。②今後も継続して実施していく。③いじめ、問題行動、不登校等への対応として、スクールカウンセラーの派遣を今後も継続する。心理テストについては、原則年2回として実施し有効活用を図る。また、不登校児童生徒対策については、教師間及び保護者との連携を図り、必要な場合は福祉部局と連携も検討のうえ、迅速かつ生徒に寄り添った対応を図るよう努める。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の体力向上に向けた対策について検討して頂きたい。また、不登校等への対応について、家庭や関係機関などと連携しながら、児童生徒の健康及び安全の充実に向け取り組んで頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その2》				
取り組みの概要(事務事業)	①通学路の安全確保 ②各種安全教室等の開催 ③新型コロナウイルス感染症対策 ④熱中症対策				
実施状況	①通学路等交通安全推進会議による通学路危険箇所等の合同点検を実施し、その結果を町ホームページへ掲載した。 ②地震や火災を想定した避難訓練、交通安全教室、薬物乱用防止教室などを実施した。 ③昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として各学校に消毒サポート員を配置した。また、修学旅行の際にバスを増便するなど適切な感染予防策を講じた。 ④熱中症対策として、各学校に携帯用の熱中症計や保健室用の温湿度計を整備した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①通学路の安全確保	0	0	0	0
	②各種安全教室等の開催	0	0	0	0
	③新型コロナウイルス感染症対策	16,605	1,280	12,900	611
④熱中症対策	0	82	0	0	
評価	①通学路等の安全確保に向け合同点検を実施し、通学路等の危険箇所等、今後の対策等について、共通理解を図ることができた。 ②各種安全教室の実施により、児童生徒の安全対応能力や防犯意識の向上が図られた。 ③コロナ禍における学校での感染拡大防止が図られた。 ④熱中症対策用品を整備することで、熱中症予防の意識の向上が図られた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①②③④特になし		①通学路等の安全確保に向け、合同点検を実施し、安全対策の推進に努める。 ②今後も各学校の実情に応じて継続する。 ③引き続き適切な感染予防対策を講じる。 ④引き続き適切な熱中症予防対策を講じる。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の安全確保のため、引き続き取り組んで頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	オ 高校教育の充実				
取り組みの概要(事務事業)	① 虻田高校への支援 ② 虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会との連携 ③ 洞爺地区等高校生通学費等助成事業				
実施状況	① 「虻田高等学校の未来づくりに関する提言書」に基づく支援事業を行った。 ② 虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会から、虻田中学校3年生の保護者へ支援内容の文書を配布した。洞爺中学校全生徒対象にアンケート調査を実施した。 ③ 洞爺地区、花和及び月浦に居住し、胆振西学区地区、留寿都村及び真狩村の高等学校に通学する生徒の通学や下宿等に要する経費を負担する保護者に対し、助成を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	① 虻田高校への支援	3,257	4,340	0	0
	② 虻高未来づくりフォローアップ推進委員会活動事業	40	62	0	0
③ 洞爺地区等高校生通学費等助成事業	2,606	2,444	0	0	
評価	① 生徒募集活動等必要な支援を行うことができた。 ② 虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会を2回開催し、現状等を検証した。 ③ 保護者への負担軽減を図る学習機会の確保することができた。				
達成度	A	説明	達成度は比較的高い		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 入学者20名以上につながる支援策 ② 提言書としてまとめた意見を次へつなげる活動の推進 ③ 全町を対象とした助成事業の検討		①② 虻高未来づくり推進会議で虻高の魅力化の発信及び入学者増となるような支援策を検討・協議し、提言としてまとめた内容を実行していく。また、既存の支援策の評価・検証及び新たな高校の魅力化の検討については、虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会の中で協議を行い、入学者増に努める。 ③ 対象者の検討と助成額の検討をしていく。		
評価委員の意見・提言	洞爺地区からのバス利便性の向上を含め、関係機関との協議・検討など、虻田高校の入学者増加に向けた取組みを進めて頂きたい。また、通学費助成についても、全庁的な視点での検討を実施して頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	カ 学校施設の整備				
取り組みの概要 (事務事業)	①学校施設の維持・管理の推進 ②虻田中学校の今後の方向性に関する対応				
実施状況	①町内小中学校施設に係る工事及び修繕を実施した。 主な工事 虻田中学校外装修繕工事(3,795千円) 洞爺中学校屋内運動場非構造部材耐震点検調査業務(2,332千円) ②北海道教育委員会と虻田高等学校の空き教室の利用についての協議を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①学校施設の維持・管理の推進	10,282	11,999	0	0
②虻田中学校の今後の方向性に関する対応	0	0	0	0	
評価	①学校施設の維持・管理については、児童生徒の安全を優先し必要箇所の工事、修繕を行った。 ②前例がない事項であり、協議継続となった。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①老朽化した施設の改修 ②虻田中学校の校舎・体育館の老朽化への対応		①学校施設の長寿命化計画等、老朽化対策を計画的に行っていく必要がある。 ②他の方法も検討する必要がある。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の学びの場として、最も良い方法について全体的な視点から早期に取り組んで頂きたい。				

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	キ 地域交流事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①箱根町との中学生交流 ②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル				
実施状況	①箱根町との中学生交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大により相互訪問は中止となったが、虻田中学校とリモートで交流事業を実施した。 ②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバルは、中止となった。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①箱根町との中学生交流	0	19	0	0
	②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル	0	0	0	0
評価	①コロナ禍であっても、工夫し交流事業を実施した。 ②中止				
達成度	B	説明	一部に中止があった。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①②今後の実施方法の検討		①は、親善交流の重要な事業であり、コロナ禍においても工夫し交流することができた。②は地域住民に学校での教育活動の成果の一旦を発信できる機会であるので、今後のコロナ禍でも実施できる内容を検討する。		
評価委員の意見・提言	コロナ禍で一部事業が中止となっているが、次年度以降も事業を継続することを期待したい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ク 進学支援の充実				
取り組みの概要(事務事業)	①育英資金貸付及び給付事業				
実施状況	①【入学時給付金】 給付金額 高校・高等専門学校 8万円、専修学校・大学 15万円 令和3年度給付実績～高校 6名、高等専門学校 0名、専修学校・大学 5名 【学資金】 貸付基準額(月額:以下の金額以内) 高校 1.2万円、高等専門学校 1.5万円 専修学校・大学 2.1万円 令和3年度貸付実績～高校 2名、高等専門学校 0名、専修学校・大学 1名 【入学時一時金】 貸付基準額(以下の金額以内) 公立高校 20万円、私立高校 30万円、高等専門学校 30万円、専修学校・大学 50万円 令和3年度貸付実績～公立高校 1名、私立高校 1名、 高等専門学校 0名、専修学校・大学 1名				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①育英資金の基金貸付及び給付事業	(660)	4,042	0	4,042
評価	①育英資金基金を活用して勉学意欲がある学生・保護者への経済的負担を軽減することができた。また、令和3年度に設けた奨学資金貸付金(学資金)の返済免除制度への申請が2件あり、借受者の返済における軽減を図ることができた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①特になし	学資金については、ふるさと納税の指定寄附により資金の確保はできている。さらなる周知に努め、有効な運営を図っていく。			
評価委員の意見・提言	勉学意欲のある学生や保護者の支援として、充実した事業を引き続き実施して頂きたい。				

事務事業評価シート

		担当課	学校給食センター		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ケ. 学校給食(施設等)の充実				
取り組みの概要(事務事業)	①給食センターの管理・運営 ②食育活動の充実 ③学校給食センターに係る検討委員会				
実施状況	①ハサップに沿った衛生管理・運営を行い安心・安全な給食提供を行った。虻田給食センター未整備であった調理衣、厨房シューズ消毒保管庫を新規に購入し衛生管理の向上を図った。 ②安心・安全で栄養バランスの取れた給食提供を行うと共に、栄養教諭による食育指導・衛生指導を行った。また、地場産品の野菜等の使用に努めた。 ③平成18年3月の町村合併以来、虻田給食センター、洞爺給食センターの2施設で運営してきた学校給食について、1. 虻田給食センター改修(案) 2. 洞爺給食センター改修(案) 3. 新設給食センター建設(案)の3案について協議検討を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	①給食センターの管理運営費	50,332	47,616	0	0
	②食育活動の充実	0	0	0	0
	③学校給食センターに係る検討委員会	0	163	0	0
評価	① 給食提供数は1日約536食・年間総数101,677食を、調理後2時間以内に喫食出来る様、計画的に提供先6校(虻田高校含む)へ適切に配送を行った。給食費については、両センターともに納入率100%を達成出来た。(給食費納入額:虻田給食センター 21,909,080円・洞爺給食センター 6,731,500円) ②栄養教諭による食育指導で食育の推進が図られた。また、地場産品の野菜等を積極的に使用した。食物アレルギー対応では虻田給食センター除去食7名、代替飲料3名、洞爺給食センター除去食3名の給食対応を行い給食事故のない提供ができた。 ③5回の協議検討の結果、洞爺給食センターを改修し活用することが望ましいとの今後の方向性についての提言を受けた。				
達成度	A	説明	予定どおり事業が実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①給食センターの管理・運営の検討		両施設ともに経年劣化が進んでいる事から、統合までの間、施設・機器の維持管理を図り、現施設の運営に努める。また、統合計画を進めて行く。		
	②食育活動の充実		栄養教諭による食育指導の継続を図る。保護者へも地場産食材を積極的に使用している事を給食便り等で周知を行って行く。		
③学校給食センターに係る検討委員会		検討委員会より、給食内容(ソフト面)での協議の場を新たに設け、洞爺湖町の安心・安全でより良い給食提供を図って頂きたいとの提言も受けたことから、「洞爺湖町学校給食センター給食懇談会」を設置し協議・検討を行う。			
評価委員の意見・提言	今後とも安全安心でおいしい給食の提供に努めて頂くとともに、新たな給食センターで提供される給食についても、地場産品の利用など食育に繋がる内容を検討して頂きたい。				

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進					
主要施策	ア 乳幼児事業の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	① ブックスタート事業(生後7カ月の乳幼児健診時に絵本を贈呈) ② 子育てメソッド形成事業(家庭教育に関する情報の提供) ※メソッド=目的を達成するための方法 ③ 子育てセミナーの活動支援(セミナーの開催により親同士の情報交換の場の提供)					
実施状況	① 生後7ヶ月の乳児健診を利用し、本を通して親子のふれあいと心や言葉の発達を促し、子育てに対する意識を育てる事業(本の贈呈)を実施した。(参加延べ38名) ② 小学校新入学児童説明会を利用して、保護者に対し家庭における余暇の過ごし方等の情報提供や資料配布により、親子のふれあいの時間を考える機会を提供した。 ③ 予定回数5回のうち4回実施した(参加者延べ保護者25名)。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			2年度	3年度	国・道	その他
	① ブックスタート事業	35	0	0	0	
	② 子育てメソッド形成事業	0	0	0	0	
③ 子育てセミナー	0	0	0	0		
評価	① 絵本の贈呈をきっかけに読み聞かせの推奨や、読書の家で借りることができる本や施設の紹介などを行った。 ② 保護者に対し、家庭でテレビやゲームのスイッチを切って読書や談話など、親子のふれあいの時間の大切さなどの情報発信を行い、家庭教育の推進が図れた。 ③ 「はつらつパパ・ママの子育てセミナー」を町民カレッジ対象事業とし、参加促進を図った。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	① 贈呈後のフォローアップ		読書の家の活用案内など継続性のある利用促進。			
	② 事業の推進		情報の発信による啓発機会の充実。			
	③ 特になし					
評価委員の意見・提言	乳幼児期は生涯にわたる人間形成の根幹として重要な時期であり、今後も事業の充実に努めていただきたい。					

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進					
主要施策	イ 少年事業の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	①放課後児童健全育成事業(町内3箇所において学童保育を実施) ②学校支援地域本部事業 ③学習支援事業「地域未来塾」の実施(公設の無料学習塾)					
実施状況	①北海道生物多様性保全実践活動表彰候補者の推薦について(通知)虻田地区(風っ子)26名、温泉地区(洞爺湖クラブ)22名、洞爺地区(とうや児童クラブ)21名利用。 ②53組の個人・団体が学校支援ボランティアに登録している。 ③6月～2月の期間中、小中学生を対象に母と子の館(虻田地区)、洞爺総合センター(洞爺地区)主会場として、曜日を定めて常設を実施した。 また、ウトウラノでは高校受験生を対象とした、東大生講師によるICT遠隔教育事業を10月から2月まで実施した。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			2年度	3年度	国・道	その他
	① 放課後児童健全育成事業		18,086	19,009	11,588	0
	② 学校支援地域本部事業		0	0	0	0
③ 地域未来塾		1,464	2,957	1,809	0	
評価	① 学童保育を希望する児童は利用できた。 ② 新型コロナの影響で学校でのボランティア活動の実施はなかったが、地域未来塾での活動を行った。 ③ 地域未来塾の実施により、学習習慣を身に付け、基礎学力向上に向けた事業実施が図られた。(参加者延べ844人)					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	① 支援員体制確保		支援員の確保策を検討する。			
	② 体制の強化		登録ボランティアの活動を推進するため、関係機関との連携を強化する。			
③ 実施内容の充実		ICT遠隔教育事業を8月から2月まで実施する。				
評価委員の意見・提言	学習支援事業「地域未来塾」は非常に良い事業であり、引き続き事業の充実を図りたい。					

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興				
主要施策	ア 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	① 既存施設の改修等 ② 情報発信や体験学習などの利活用 ③ 縄文ボランティアガイドの育成 ④ 縄文遺跡群の世界遺産登録推進事業				
実施状況	① 既存施設の改修等 25,553 千円(貝塚館既存棟外壁改修・外構、入江貝塚便益施設改修、縄文ロード、高砂貝塚法面土留め) ② 入江・高砂貝塚館及び高砂貝塚リニューアルオープンセレモニーの実施、入江・高砂貝塚リーフレット、ガイドブック作成・印刷、胆振縄文バスツアー体験事業 ③ ボランティアガイド養成講座の実施 ④ 世界遺産への登録(令和3年7月27日)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(3年度)	
		2年度	3年度	国・道	その他
	① 既存施設の改修等	169,804	25,553	0	19,300
	② 情報発信や体験学習などの利活用	0	1,177	0	0
	③ 縄文ボランティアガイドの育成	0	0	0	0
④ 縄文遺跡群の世界遺産登録推進事業	630	180	0	0	
評価	① 既存施設の改修については、予定通り実施できた。 ② 貝塚館のリニューアルオープン・世界遺産登録などにより、充実した情報発信や体験学習が可能となった。 ③ 北海道との連携や町単独で募集したことにより、ガイドの育成講座を開催することができた。 ④ 世界遺産は、イコモスの勧告を経て世界遺産委員会にて登録が決定した。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 周辺施設の整備		縄文ロードの整備		
	② 利活用について		縄文への理解を深めるためのソフト事業の計画、実施。		
③ ガイドの充実		来訪者への理解促進に向け、引き続き養成講座を行う。			
評価委員の意見・提言	縄文ボランティアガイドを育成し、地域を巻き込んだ新たな展開が図られている。国道の誘導看板の整備など、ソフト面、ハード面において縄文遺跡群の更なる情報発信、事業の充実に努められたい。				

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	IV 芸術文化の振興				
主要施策	イ 町内文化財の保存活用				
取り組みの概要 (事務事業)	① 充実した施設の運用 ② 指定文化財の保存と活用				
実施状況	① 学校の授業において、郷土資料館の見学会や資料の貸出を行った。R2に作成した「アイヌ語地名マップ」をもとにした展示や年表作成を行った。 ② 洞爺湖町指定文化財である各獅子舞保存会への支援(月浦獅子舞、香川獅子舞、曙獅子舞)。				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(3年度)
			2年度	3年度	国・道
	① 郷土資料館見学会等	0	0	0	0
	② 各獅子舞保存会補助金	880	100	0	0
評価	① 虻田郷土資料館、洞爺郷土資料室において、地域学習の場を提供することができた。 ② 町指定文化財の活動支援をすることができた(曙獅子舞については新型コロナウイルスの影響で活動休止)。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 施設の利活用の促進	郷土の歴史の理解を深めるため、引き続き利活用の促進に努める。			
	② 指定文化財へのさらなる支援	今後も各保存会と連携し、指定文化財の保存と継承に努める。			
評価委員の意見・提言	貴重な郷土資料の適正な保存管理に努めるとともに、獅子舞保存会の保存伝承への取組支援、更にはアイヌ語地名マップを活用したウトウラノとの連携など、町内文化財の保存活用に努めていただきたい。				

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興				
主要施策	ウ 読書活動の振興				
取り組みの概要(事務事業)	① 読書環境・活動の充実 ② 読書感想画・読書紹介文募集事業				
実施状況	① あぶた読書の家での読み聞かせ(定期)及び読書週間での読み聞かせを実施した。また、みずうみ読書の家については、気軽に入室できるよう施設の改修を行った。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業(182 作品)				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)
			2年度	3年度	国・道 その他
	① 読み聞かせ		0	10	0 0
	① 読書の家維持管理事業		6,258	6,987	0 0
	② 読書感想画・紹介文募集事業		14	14	0 0
評価	① 読み聞かせは、新型コロナウイルスにより2回の開催にとどまったが、子どもが読書に親しみ、本を読むきっかけづくりができた。また、みずうみ読書の家は壁の一部を取り払い、ガラス戸としたことで入室しやすい環境を整えることができた。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業を洞爺湖ロータリークラブとの共催で継続実施。虻田中学校の全校取り組みもあり、継続した取り組みが図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 施設の利用促進	図書関連行事等の情報発信やサークルの支援に努める。			
	② 活動の充実	共催団体と連携し、学校などへの働きかけに努める。			
評価委員の意見・提言	みずうみ読書の家を改修し、新たな利活用が可能となったが、利用状況を確認しながら、更なる読書環境の充実を図られたい。				

令和4年度(令和3年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	VI 社会教育施設及び社会体育施設の充実等				
主要施策	ア 社会教育施設及び社会体育施設の整備				
取り組みの概要(事務事業)	① 施設の維持管理 ② 虻田小学校グラウンド照明取付工事の実施				
実施状況	① 社会教育施設及び体育施設においては、円滑な定期利用調整を図れた。 ② 虻田小学校グラウンドに夜間照明設備の設置を行った。				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)
			2年度	3年度	国・道 その他
	① 社会教育施設維持管理事業		15,078	14,262	0 727
	① 体育施設運営事業		10,564	7,340	0 632
	② 虻田小学校グラウンド照明取付工事		—	6,270	0 6,200
評価	① 社会教育施設及び体育施設の利用において、必要な修繕を行いながら、利用者の安全確保に努め、サークル活動の支援やスポーツ推進を図れた。 ② 日照時間が短い時期でも少年団活動の練習時間の確保ができた。				
達成度	A	説明	既存の施設において必要な整備を行うことで、利用者の安全確保や設備等の充実が図られた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	安全安心なスポーツの推進のための環境整備		施設利用者の安全に努め、適正な維持管理を行う。		
評価委員の意見・提言	少年団活動に資する虻田小学校グラウンドに照明設備が整備されるなど、利用者の要望に応える取り組みがされている。今後においても、利用者の要望に耳を傾けながら安全・安心な施設の維持管理に努めていただきたい。				

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策により中止とした事業一覧

番号	推進項目	主要施策	取組の概要	例年の実施状況等
1	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	①洞爺湖GENKIDS	小4～中学生を対象とした社会体験クラブの実施
2	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	②ボードゲームなど電子機器を使用しないゲームの奨励	アウトドアスポーツ、ドイツゲーム等の推進(レイクスports等)
3	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	③三豊市との小学生交流事業	ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー
4	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	⑦少年の主張大会	町内中学生(虻田中学校、洞爺中学校)選抜6名による主張大会
5	Ⅲ 社会教育の推進	ウ. 青年・成人教育の充実	①成人式、成人のつどい実施	令和3年8月15日実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により中止
6	Ⅲ 社会教育の推進	ウ. 青年・成人教育の充実	②人づくり育成事業の実施	人材育成及び地域活性化を目的に、国内先進地の視察研修費用を助成
7	Ⅲ 社会教育の推進	エ. 女性事業の充実	①女性団体の活動支援	女性団体に対する補助金により、団体の自主的な活動を支援
8	Ⅲ 社会教育の推進	エ. 女性事業の充実	②リーダー養成研修の充実	胆振女性リーダー養成研修参加
9	Ⅲ 社会教育の推進	オ. 男女共同参画事業の充実	①きずな学級の開催	男女を問わず身近なテーマを掲げ、地域づくりや活動促進、男女共同参画などを考える講演会等の実施
10	Ⅲ 社会教育の推進	カ. 高齢者事業の充実	①高齢者事業等の実施	いきいき学園(地域の指導者や学習資源を活用しながら多様な学習機会を提供)
11	Ⅳ 芸術文化の振興	ア. 芸術文化活動の充実	①各種発表会等の開催、支援	総合文化祭(虻田地区)、洞爺湖町民文化祭(洞爺地区)の開催
12	Ⅳ 芸術文化の振興	ア. 芸術文化活動の充実	②美術見学の機会の提供	美術館や博物館を巡り、鑑賞の機会を提供
13	Ⅳ 芸術文化の振興	イ. 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実	②縄文まつり等企画事業	縄文まつり(入江貝塚公園)縄文ロビー講座(ふれ合いセンター)文化財防火デー等の実施
14	Ⅳ 芸術文化の振興	イ. 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実	③史跡めぐりウォークラリー	郷土の理解と文化財等に関する学習、健康増進
15	Ⅴ スポーツ活動の推進	ア. 体育振興事業の充実	①体育振興事業の充実	スポーツの普及推進を図るため、共催、後援事業を含めて、各種スポーツ大会や教室の開催において関係団体等と連携実施

